

令和5年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費
2項 企画費
2目 計画調査費

新時代・SDGs推進課（内線：7093）
（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
SDGs推進事業	8,337	7,155	1,182	4,167			4,170	
トータルコスト	17,693千円（前年度 16,618千円）〔正職員：1.2人〕							
主な業務内容	オール鳥取県でのSDGs推進や普及啓発等							
工程表の政策内容	持続可能な地域社会づくりの推進							

事業内容の説明

【「デジタル田園都市国家構想交付金」充当事業】

1 事業の目的、概要

2015年9月の国連サミットで採択された「SDGs（持続可能な開発目標）」の達成に向けた、持続可能な地域社会づくりのため、官民連携ネットワークによるSDGsの普及啓発を行うとともに、子どもたちを含む県民や企業の実践拡大を図る。

2 主な事業内容

（単位：千円）

事業名	内容	予算額
(1) オール鳥取県でのSDGs推進事業	①官民連携ネットワークの運営（1,000千円） 行政、企業、団体、NPOをはじめとした多様な主体による連携・協働のための官民連携組織を運営する（事務局：県）。 ②とっとりSDGsパートナー制度の運営（1,840千円） SDGsへの積極的に取り組む団体等の活動を「見える化」し、横展開を促すための登録制度を運営する。 ③鳥取県SDGs推進・温室効果ガス削減戦略本部の運営 SDGsの推進や喫緊の課題となっている温室効果ガス削減に向けて、全庁を挙げて取り組む。	2,840
(2) SDGs普及啓発事業	①とっとりSDGsポータルサイトの運営（627千円） 動画やSNSによる認証企業及びパートナー企業等の取組紹介、とっとりSDGs若者ネットワークをはじめとする各種ネットワークの活動等を掲載するウェブページの保守・管理。 ②「とっとりSDGs伝道師」制度の運営（1,870千円） SDGs普及啓発の核となる人財をSDGsの伝道師として任命し、県内各地でのSDGsの理念の普及や事例紹介等を行う担い手となってもらう。 ③「とっとりSDGs子ども伝道師」制度の運営（1,000千円） 学校でSDGsを学んだ学級を「子ども伝道師」に任命し、学校単位での子どもの自律的かつ主体的なSDGsの普及啓発や実践拡大を図る。 ④「とっとりSDGs子どもアンバサダー」事業（2,000千円） 「とっとりSDGs子ども伝道師」を対象に、オンラインを活用し発展途上国の子どもや若者達と交流し、豊かな自然など共通するテーマでの課題や解決策・アイデアを互いに共有することで、SDGsの本質を知り、自身の環境を見つめ直す機会を未来を担う子ども達に提供する。	5,497
合 計		8,337

3 事業目標・取組状況・改善点

県内におけるSDGs実践拡大を図る指標として、鳥取県令和新时代創生戦略のKPIである「とっとりSDGsパートナー登録件数を事業目標としているが、「令和6年度末に500件」をすでに達成しており、さらなる上方修正を検討している。

【鳥取県令和新时代創生戦略のKPI（重要業績評価指標）：500件】※令和4年12月末現在：527件

令和4年度は、SDGs未来都市に選定されたことに伴い鳥取県未来都市計画を策定し、子ども伝道師やアンバサダー、パートナーシップ推進など、SDGsにチャレンジする人財をサポートする新たな施策を開始した。

令和5年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費
2項 企画費
2目 計画調査費

新時代・SDGs推進課（内線：7093）
（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
とっとりSDGsパートナーシップ加速化事業	4,860	8,397	△3,537	2,430			2,430	
トータルコスト	10,196千円（前年度 21,803千円）〔正職員：0.5人、会計年度任用職員：0.5人〕							
主な業務内容	SDGsビジネスアワード企画・調整・実施、SDGsシーズン2022に係る企画・調整・実施							
工程表の政策内容	持続可能な地域社会づくりの推進							

事業内容の説明 【「デジタル田園都市国家構想交付金」充当事業】

1 事業の目的、概要

令和2年度以降、SDGsの普及啓発、実践拡大の土台となる各種取組を推進することにより、民間調査機関が実施した「地域別SDGs評価」で3年連続都道府県1位になるなど、SDGsの理念と実践は着実に本県に根付きつつある。令和4年度にはSDGs未来都市にも選定され、地域におけるSDGs達成に向けて、これまでに構築した土台を強化・発展させるとともに、SDGsの達成に不可欠となるパートナーシップによる取組を更に加速させる。

2 主な事業内容

（単位：千円）

区分	内容	予算額
(1) とっとりSDGsシーズン2023	● 3年目となる鳥取県発の普及啓発・実践強化期間「とっとりSDGsシーズン」をオンラインイベントとリアルのハイブリッド型で開催する。	3,000
(2) とっとりSDGsビジネスアワード事業	● SDGsの達成に向けて、県内でSDGs推進のモデルとなる優れた取組を行う企業を表彰するため「とっとりSDGsビジネスアワード」を実施する。 ＜表彰例＞ 【鳥取県知事賞（最優秀賞）】 SDGs推進の代表的なモデルとなる、きわめて顕著な功績があったと認められる企業 【SDGsパートナーシップモデル賞（特別賞）】 SDGs推進のモデルとして、ロールモデルとなり得るパートナーシップの取組を行ったと認められる企業	1,860
合 計		4,860

3 事業目標・取組状況・改善点

県内におけるSDGs実践拡大を図る指標として、鳥取県令和新時代創生戦略のKPIである「とっとりSDGsパートナー登録件数を事業目標としているが、「令和6年度末に500件」をすでに達成しており、さらなる上方修正を検討している。

【鳥取県令和新時代創生戦略のKPI（重要業績評価指標）：500件】※令和4年12月末現在：527件

令和4年度は、「とっとりSDGsシーズン」として県内各地でSDGsにつながるイベントを集中的に実施するとともに、令和4年5月に選定されたSDGs未来都市もPRするため、「SDGs未来都市選定記念フォーラム」をハイブリッドで開催した。

企業や地域のパートナーシップを促進するため「とっとりSDGsビジネスアワード」を創設し、県内企業19社の応募の中から、SDGs推進のビジネスモデルとなる優れた取組を行う企業を選定した（最優秀賞1社、特別賞2社）。

令和5年度一般会計当初予算説明資料

2 款 総務費

2 項 企画費

女性活躍推進課（内線：7792）

1 目 企画総務費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
女性活躍に取り組む企業支援事業	4,476	8,312	△3,836	238			4,238	
トータルコスト	13,832千円（前年度 17,775千円）〔正職員：1.2人〕							
主な業務内容	研修開催、補助金交付							
工程表の政策内容	誰もが働きやすい職場環境づくり、女性活躍に向けた企業の取組の推進							

事業内容の説明

【「地域女性活躍推進交付金」充当事業】

1 事業の目的、概要

企業における女性活躍を推進するため、女性活躍に資する研修会の実施、誰もが働きやすい職場環境整備や人材育成、就業継続等に資する取組を行う企業を支援する。

2 主な事業内容

（単位：千円）

区分	予算額	内容
女性活躍推進に向けた課題対応研修	476	企業経営者や人事・労務担当者向けに女性活躍に資する取組や労務関連制度のフォローアップのほか、多様な価値観・社会の変化に伴う新たな課題に対して理解を深める研修を開催する。
女性活躍に取り組む企業支援補助金	4,000	男女共同参画推進企業が行う誰もが働きやすい職場環境の整備や輝く女性活躍パワーアップ企業等が行う女性活躍推進の取組に係る経費の一部を助成する。 （鳥取県経営者協会への間接補助事業）

【支援内容】

項目	対象経費等	対象企業
①女性の積極採用支援	女性の従業員数が少ない企業の女性の積極採用のために要する経費（女性の採用説明会開催経費、女性向け採用パンフレット作成費等） 【補助率1/2、限度額10万円】	認定企業（※1） PU企業（※2） SU企業（※3）
②誰もが働きやすい職場環境整備支援	誰もが安心して働きやすい職場環境整備に要する経費（女性更衣室、多目的トイレの整備費等） 【補助率1/2、限度額25万円】	認定企業 PU企業・SU企業
③女性のキャリアアップ等支援	人材育成研修、資格取得等に要する経費（講師謝金、講習料等） 【補助率1/2、限度額20万円（PU企業）、10万円（SU企業）】	PU企業・SU企業
④離職者雇用奨励金	育児、介護等の理由により離職した女性を正社員として雇用した企業への奨励金 【1企業あたり30万円】	PU企業・SU企業
⑤育児休業復帰支援	女性が安心して育児休業から復帰、就業継続できるよう育児休業時に雇用していた代替職員を引き続き雇用する際に要する経費 【月額上限10万×最長3か月】	PU企業・SU企業

※1 男女共同参画推進企業（認定企業）…家庭との両立に配慮し、誰もが働きやすい職場環境づくりを進める企業 [R5.1現在949社]

※2 輝く女性活躍パワーアップ企業（PU企業）……認定企業のうち管理的地位に占める女性割合30%以上を目標に人材育成や環境整備に取り組む企業 [R5.1現在325社]

※3 輝く女性活躍スタートアップ企業（SU企業）……認定企業のうち管理的地位に占める女性割合15%以上を目標に人材育成や環境整備に取り組む企業 [R5.1現在5社]

3 事業目標・取組状況・改善点

経済団体や市町村等との連携のほか、女性活躍推進員等による新規開拓やきめ細かなフォローアップ等を通じて、女性活躍に取り組む県内企業は着実に増加しており、引き続き、誰もが安心して働きやすい職場環境づくりや人材育成・就業継続の取組を着実に進め、企業における女性活躍を一層推進する。

※「第2次鳥取県女性活躍推進計画」に定める目標値

輝く女性活躍パワーアップ企業登録数 500社(令和7年度) ← 325社(令和5年1月現在)

令和5年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

1目 企画総務費

女性活躍推進課（内線：7792）

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
イクボス・ファミボス普及拡大事業	3,620	3,720	△100	2,413			1,207	
トータルコスト	14,536千円（前年度 14,760千円）[正職員：1.4人]							
主な業務内容	情報発信、普及啓発、企業の取組支援 等							
工程表の政策内容	誰もが働きやすい職場環境づくり、女性活躍に向けた企業の取組の推進							

事業内容の説明 【「地域女性活躍推進交付金」、「地域少子化対策重点推進交付金」充当事業】

1 事業の目的、概要

イクボス・ファミボスの取組をさらに普及拡大させるため、働きやすい職場づくりを進め、仕事と家庭の両立を応援する企業の取組事例の発信や介護等支援コーディネーター派遣などを通じてイクボス・ファミボスの具体的な取組を支援する。

※イクボス・ファミボス

子育てはもちろん介護と仕事を両立できる職場環境づくりを担い、従業員の仕事と家庭の両立を応援するワーク・ライフ・バランスの実践リーダー

2 主な事業内容

（単位：千円）

項目	予算額	内容
イクボス・ファミボス宣言企業説明会	660	働きやすい職場づくりに熱心なイクボス・ファミボス宣言企業の人材確保を応援するため、宣言企業を対象とした企業説明会を開催する。
イクボス・ファミボスの好事例の発信	1,000	イクボス・ファミボスの優良取組事例を継続的に発信する。（新聞連載6回）
イクボス・ファミボス宣言企業の表彰	60	イクボス・ファミボスの優れた取組を実施している企業を表彰する。
官民一体の普及啓発	1,100	イクボス・ファミボス普及推進委員会（経済団体・労働団体等で構成）と連携し、イクボス・ファミボスの普及啓発を行う。
介護等支援コーディネーター派遣	800	従業員の将来の介護リスク等の把握や従業員が利用できる公的サービスの情報など、アドバイスを希望する企業にコーディネーターを派遣し、相談支援を行う。

3 事業目標・取組状況・改善点

経済団体、労働団体、行政等で構成された「女星活躍とっとり会議」と連携して、企業トップへの継続した働きかけ等を行い、イクボス・ファミボスの一層の普及拡大を図り、一人一人のワーク・ライフ・バランスの実現を図る。

【事業目標】

※「第2次鳥取県女性活躍推進計画」に定める目標値

イクボス・ファミボス宣言企業数 1,000社(令和7年度) ← 767社(令和5年1月現在)

令和5年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費
2項 企画費
1目 企画総務費

女性活躍推進課（内線：7077）
（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
家族の笑顔をつくる家事シェア・家事負担軽減促進事業	2,150	3,350	△1,200	1,075			1,075	
トータルコスト	6,049千円（前年度 7,293千円） [正職員：0.5人]							
主な業務内容	情報発信、普及啓発等							
工程表の政策内容	男性の家事・育児、介護等への参画促進							

事業内容の説明

【「地域女性活躍推進交付金」充当事業】

1 事業の目的、概要

誰もが地域や職場など様々な場できいきと活躍できる社会を目指し、家事・育児、介護等の負担が女性に偏りがちな状況を解消するため、男性の家事等への参画を促進する取組を行う。

2 主な事業内容

(1) 広域的な情報発信・普及啓発事業〔島根県との連携事業〕

社会全体が男性の家事、育児、介護への参画を当たり前のこととして捉え、応援する機運を醸成するため、多様な媒体による広域的な情報発信・普及啓発キャンペーンを行う。（期間：11月1日～11月30日）

（単位：千円）

区分	予算額	内容
社会全体の機運醸成	850	家事シェアや男性の家事育児参画を手伝いではなく当たり前のこととして捉え、肯定する情報発信・普及啓発を行う。（テレビCMやウェブ広告等多様な媒体での広報、特設サイトでの情報発信）
企業風土の醸成	300	企業トップをはじめ同僚ら働く場の理解を深める情報発信・普及啓発を行う。（ウェブ広告及び特設サイト等による情報発信）
地元ローカル番組と連携した情報発信	850	テレビ局が山陰で共通であることを利用し、地元ローカルテレビ番組を活用した情報発信・普及啓発を行う。

(2) 男性の家事参画促進事業

男性の家事への参画を促進するため、家庭内での家事分担を進めるきっかけとなる取組を実施する。

（単位：千円）

区分	予算額	内容
「とっとり家事シェア手帳」「とっとり家事シェアボード」等を活用した啓発	150	「とっとり家事シェア手帳」を婚姻届提出時に市町村窓口で配布するほか、「とっとり家事シェアボード」を例とし、家事シェア促進に資する情報を県ホームページやSNS等により発信する。

※家事分担意識の醸成等のためのセミナー開催経費等については、令和4年度12月補正予算「笑顔でつなぐ女性活躍推進事業」において予算措置済み。

3 事業目標・取組状況・改善点

島根県と連携し、両県共通のイメージロゴやキャッチフレーズを用いた広域広報に取り組むとともに、男性が家事等へ参画するきっかけとなる取組を進め、男性の育児・家事関連時間の増加に繋がった。引き続き、男性の家事等への参画がより促進されるよう社会機運の醸成を進める。

※「鳥取県性にかかわらず誰もが共同参画できる社会づくり計画」に定める目標値

「6歳未満の子どもを持つ夫の育児・家事関連時間」 100分/日(令和7年度)

総務省「社会基本調査」 76分/日(平成28年度) →117分/日(令和3年度)

令和5年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

1目 企画総務費

女性活躍推進課（内線：7075）

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
男女共同参画センター費	16,401	18,706	△2,305	130		＜雑入＞ 85	16,186	
トータルコスト	75,014千円（前年度 77,423千円）〔正職員：4.2人、会計年度任用職員：9人〕							
主な業務内容	情報提供、相談対応、各種講座企画・実施、活動団体への支援等							
工程表の政策内容	男女共同参画の普及推進							

事業内容の説明

【「地域女性活躍推進交付金」充当事業】

1 事業の目的、概要

男女共同参画センター「よりん彩」において、男女共同参画社会を推進するため、情報提供、相談業務等を実施するほか、理解者の裾野を拡大する普及啓発や、推進活動の中核となる人材を育成する講座等の開催及び推進団体等への活動支援を行う。

また、男女共同参画推進条例に基づく男女共同参画推進員を設置し、男女共同参画に関する苦情・不服申出に対し審査し、男女共同参画施策の是正・改善の勧告、又は制度の改善を求める意見公表を行う。

2 主な事業内容

（単位：千円）

区分	予算額	内容
センター運営事業 （管理運営・情報提供・相談対応）	13,182	<ul style="list-style-type: none"> 男女共同参画センター運営に関する協議会を開催する。 男女共同参画センターに関する施設（センター、東・西部相談室）を管理する。 男女共同参画に関する図書、啓発パネル等の貸出等を行う。 専任相談員による一般相談、臨床心理士や弁護士等による専門相談を行う。
普及啓発事業 （普及啓発・人材育成・活動支援）	3,068	<ul style="list-style-type: none"> 男女共同参画への理解を深めるためのセミナー、出前講座等を実施する。 家庭、地域、職場等で男女共同参画を推進する人材を育成する講座、相談業務等に関わる人材の資質向上を図る講座を実施する。 不安や困難を抱える女性に対する相談など必要な支援につなぐことができる取組を企画提案により実施する。 現役世代と若者世代とが世代を超えてジェンダー平等や女性活躍等について語らう場を設ける。 活動団体、自治会、事業所等が実施する男女共同参画に関する講座等の開催経費の一部を補助する。
男女共同参画推進員	151	県民からの男女共同参画に関する苦情・不服の申出審査、男女共同参画施策の是正、改善の勧告等を行う。

3 事業目標・取組状況・改善点

- 「鳥取県性にかかわらず誰もが共同参画できる社会づくり計画」（以下「計画」という。）及び「女性活躍夢ある未来スマイル宣言」に基づき、鳥取らしい男女共同参画社会の実現に向けた取組を進めるとともに、これまで積み上げてきた男女共同参画社会実現に向けた理念を次世代につないでいく。
- 男女共同参画を推進する団体の掘り起こし及び若い世代やこれまで男女共同参画に関心のなかった層への普及啓発を強化する。

※計画目標値

男女共同参画センターによる男女共同参画の理解を促進する講座参加者数2,000人←現行値1,645人（令和3年度）